

## 学校内施設の紹介と春節への準備

齋藤正幹

明けましておめでとうございます。中国では日本の暦と少し違い、旧正月に休みになるためまだ冬休みにはなっておりませんが、もうすぐで留学期間の折り返しなので、正に光陰矢の如しだと感じております。留学生活も折り返しに差し掛かっているため、ここで振り返りをしたいと思います。

山西省に到着した当初は、中国語を全く話すことができずルームメイトの滝田君に毎日助けていただいております。買い物すらも出来ず、授業についていくのも必死でした。特に私が所属しているクラスは元々中国語を学んでいた人が多かったため、出された宿題すら理解できないこともしばしばありました。最近になってようやく日常会話ができるようになったので、交友の輪を今期以上に広げ、埼玉県の魅力をもっと発信できるようにしたいと思います。

さて、今回のレポートでは学校内施設と春節（旧正月への準備）を紹介したいと思います。中国の大学ではほぼすべての学生が大学内の寮に住んでおり、私が住んでいる商務学院も同様です。商務学院は太原市内から離れていますが学校内にスーパーや果物屋、食堂

が整備されているため、生活には全く困りません。学校内には「教員食堂」「行健園」「麦

道」という3つの食堂があり、井ものから火鍋まで様々な料理を楽しむことができます。私はこのうち「麦道」をよく利用しています。2階建ての建物で、朝は1階でお粥を買い、昼は2階で井ものを食べています。価格は平均100円前後で、ボリュームは日本の2~3倍といった具合です。

次に学校内のスーパーについて紹介します。「城得（チェンドウ）」というスーパーが学校内にあり、地下1階から3階まで商業施設が営業しています。この施設では日用品の買い物、散髪やネイル、携帯電話の契約など、ほぼすべての生活機能がそろっています。私は以前、カットとパーマをしたことがありますが、3000円弱ですることができました。春節期間と夏休みは開店していないようで、私が到着してすぐの頃（8月24日から1週間ほど）は営業していませんでした。規模としては、日本の大学生協よりも2~3倍品ぞろえが多いといった感じでした。

学校内の施設について紹介しましたが、旧正月（春節）の期間は注意が必要です。大体1月下旬から2月中旬の春節期間中、学校内にあるすべての施設が閉まってしまうため、生活がかなり不便になるそうです。学校外ではビジネスも含め休みになっているため、この期間に仕事を依頼することは避けたほうが良いという話も耳にしたことがあります。



学校内のスーパー「城得」の入り口付近です。  
一番奥にはフライドチキンのお店、  
星という漢字が見えるお店はケーキのお店です。



新年会での1コマ。山西大学の友達と一緒に劇をしました。  
僕の役はバスドライバーでした。